

授業で実践できる地図の活用法 をめざして

～先生方と共に歩む実践マップスキル研究会～
実践マップスキル研究会 事務局

授業での実践を踏まえた 新しいアクティビティの実践

本冊子2009年9月号で本研究会のこれまでの歩みをご紹介しました。以来、「京都大会」、「沖縄大会」と回を重ね、2010年12月に石川県金沢市での「北陸大会」で17回目の開催となりました。2009年9月号の文中で「今後も、より具体的な活用場面を想定した学習法を研究していく予定です」と述べました。最近の大会では、より実際の授業の形式に近いアクティビティを実施しています。

例えば、「京都大会」「沖縄大会」で実施した「地図帳活用の基礎・基本の模擬授業」は、事務局が講師となり、参加された先生方を見童に見立てて、一時限の授業を再現した内容です。また、北陸大会で実施した「地図帳から都道府県の特徴をとらえよう」では、実際の授業を想定し、地図帳に掲載されている記号や統計などから各都道府県の特徴を調べて、「紹介カード」を作成する学習法を研究しました。参加された先生方には、実際に地図帳で各県の特徴を調べ、カードを作成して頂きました。同じく北陸大会で実施した「学校のまわりで『身近な地域』の学習題材をさがしてみよう」では、会場となった会館を見童の身近な地域と見立てて、学習題材をさがす観点や方法を、実際に会館内を歩いて研究しました。先生方からは「47都道府県を楽しく学ぶヒントが得られた」「身近なところに学習

題材になりそうなものが多いことに驚いた」などのご感想を頂きました。

先生方にとってより身近な 実践マップスキル研究会へ

アクティビティの内容の向上はもちろんですが、今後、先生方に本研究会をより身近に感じて頂けるようさまざまな試みをしていきたいと考えています。

ひとつは、少人数によるゼミ形式のアクティビティの実現です。多いときで40名前後の先生方にご参加頂きますので、これまでは講義形式のアクティビティが中心でした。今後は、5名前後のグループをつくり、講師を中心に先生方がお互いに意見交換しながら、指導法を研究する機会を増やしたいと考えております。

もうひとつは、より多くの地域での研究大会の開催です。これまで、北海道での巡検から沖縄県での研究大会まで多くの都道府県・地域で開催してまいりましたが、まだまだ、開催していない地域も多くあります。今後はぜひ、そのような地域にもお伺いしたいと考えています。近年、アクティビティの内容をリニューアルしておりますので、以前、開催した地域にも再度、お伺いできればと思います。社会科研究会やサークルの勉強会の一環として開催することも可能でございますのでご興味のあられる先生方はぜひ、本研究会までお問い合わせください。

問い合わせ先
Eメール (mapskil@yahoo.co.jp)
TEL&FAX 03-3262-0846
事務局 中丸 本田